



総工GPニュース 第14号

1. 12月20日(月) 第3回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会

兼 キャリアデザイン講演会兼大阪府立高専FD講演会(学生主事室・総工I・TPGP・総工GP:土井准教授)

平成22年9月9日(木)の第2回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会と同様、トヨタ・松下電器産業OBで、現在は株式会社ティー・エス・コンサル代表取締役の竹内鉦造様に、「私の会社生活と自己主張」という演題で、会社生活で得たことなどを1年生に対してお話いただきました。

前回の2年生よりさらに専門的な学習の時間が少ない1年生に対する講演会となるので、竹内氏には事前にその旨を伝え、動画等を多用した講演をしていただきました。前回、反響の大きかったボーイング社の旅客機製造VTRとともに、生産ライン効率化の比較映像(従来手順20秒、竹内氏の指摘後19秒に改善)に感銘をもって驚いた学生が多数ありました。また、本校でも掲げている5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の必要性も語っていただき、日々の生活の中でも技術者としての素養を磨くことができるということを知るよい講演会になりました。以下に、アンケート結果および学生の感想を示します。

第2回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会のアンケート結果および対比

I-1 「会社生活で得たこと」を聴いた感想についてお聞かせ下さい。

項目	2年(票)	2年(%)	1年(票)	1年(%)	増減
よく理解できた	14	7.1%	28	14.3%	7.2%
理解できた	91	46.0%	104	53.1%	7.1%
少し難しかった	65	32.8%	42	21.4%	-11.4%
難しかった	14	7.1%	13	6.6%	-0.4%
どちらとも言えない	12	6.1%	8	4.1%	-2.0%
その他(無回答)	2	1.0%	1	0.5%	-0.5%
計	198	100%	196	100%	-

I-2 今回の講演会により職業に関する意識が高まりましたか?

項目	2年(票)	2年(%)	1年(票)	1年(%)	増減
非常に高まった	14	7.1%	35	17.9%	10.8%
高まった	127	64.1%	109	55.6%	-8.5%
あまり高まらなかった	31	15.7%	26	13.3%	-2.4%
高まらなかった	6	3.0%	9	4.6%	1.6%
どちらとも言えない	19	9.6%	15	7.7%	-1.9%
その他(無回答)	1	0.5%	2	1.0%	0.5%
計	198	100%	196	100%	-

I-3 今回の講演会はあなたのキャリアデザイン(就職に関する長期的な将来設計)形成に役立ちましたか?

項目	2年(票)	2年(%)	1年(票)	1年(%)	増減
非常に役立つと思う	26	13.1%	43	21.9%	8.8%
役立つと思う	116	58.6%	115	58.7%	0.1%
あまり役立つなと思う	23	11.6%	10	5.1%	-6.5%
役立つなと思う	8	4.0%	7	3.6%	-0.5%
わからない	24	12.1%	20	10.2%	-1.9%
その他(無回答)	1	0.5%	1	0.5%	0.0%
計	198	100%	196	100%	-

■ 1年生の自由記述(抜粋)

- ・「知識と行動とは別である。行動をして初めて知識が生きる。」という言葉に関心を持ちました。
- ・仲の良い喧嘩をする。おそらく現実ではなかなか難しい事だと思うけれど、この喧嘩ができれば、調和がうまくいく協力的な団体になれると思った。
- ・人と同じことをするのではなく、自分の意見を持つ。
- ・自分も将来会社に就職するときに竹内さんのような精神を掲げていることも視野に入れていろいろな会社を見ていきたい。

2. 12月26日(日)近畿地区高専GP交流フォーラム 大阪府立図書館・ライティホール(土井准教授)

近畿地区の7つ高専が主催となり、近畿地区高専GP交流フォーラムを開催(写真1)し、60名の参加がありました。本フォーラムは、近畿地区高専の各校の優れた取組を紹介することで高専間の相互理解を深めることを目指し開催しました。フォーラムの第1部は平成22年度の本校総工GPの概要説明(写真2)と卒業製作を行った2つのプロジェクトについて、プロジェクト7:寺本君(5年機械システムコース)とプロジェクト11:



写真1 会場入口の様子



坂上君（5年メカトロニクスコース）から卒業製作の事例発表を行い、事例発表後、2つのプロジェクトを表彰しました（写真3）。

第2部は、各高専の取組をご紹介いただきました。明石高専・松田教授からは「ソーシャルマーケットを利用した学生の育成」という演題で、地域から高専に寄せられる社会益のある要望や支援依頼をもとにソーシャルマーケットを形成し、それらの取組に学生が希望に応じて取り組める枠組みを作られ、成果を上げているというお話をいただきました。奈良高専・藤田教授からは「女子中高生の理系進路選択支援事業による女子中学生に対する広報活動」という演題で、女子中学生の入学者獲得に向けた広報として、女子生徒だけに配布するPR媒体の効果や各高専が利用可能なWEBコンテンツなどのご紹介をいただきました。舞鶴高専・野毛講師からは「舞鶴高専の海外インターンシップへの取組」という演題で、高専生の海外企業への見学会実施や海外学生の舞鶴近郊でのインターンシップ受入の実績などをご紹介いただきました。和歌山高専・米光教授からは「地元銀行と県内企業合同説明会の試み」という演題で、地元銀行と高専が連携して、県内企業を集めた学生対象の企業説明会を開催している取組について紹介いただきました。神戸市立高専・大淵教授からは「神戸高専産学官技術フォーラムの取組紹介」という演題で、大震災前から20年間開催している地元企業との技術フォーラムの経緯や専攻科生学外発表の実績等をご紹介いただきました。近畿大学高専・村田教授からは「産官学連携による実践的教育・研究の取組の紹介」という演題で、企業人を講師とした産学連携講座や産官学共同研究等の紹介および名張市移転について紹介をいただきました。

フォーラムの第3部は、各高専から講演をいただいた講演者にパネリストとなっていていただき、土井がコーディネータとして、「近畿地区での高専間連携について」というテーマでパネルディスカッションを行いました（写真4）。そのなかでは、すでに行われている高専間連携の事例を確認し、あまり連携の進んでいないテーマで、かつ、各高専にメリットのあるテーマについて議論しました。その結果、高専ブランドを高めることは各高専にメリットをもたらし、そのブランド力を高めるような連携イベント開催の必要性が提言されました。最後に、参加者からいただいたアンケート結果（一般:11票、高専関係:21票、その他:6票、計:38票）の速報を以下に示します。



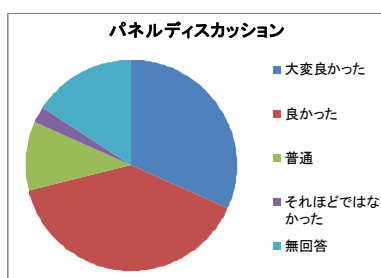
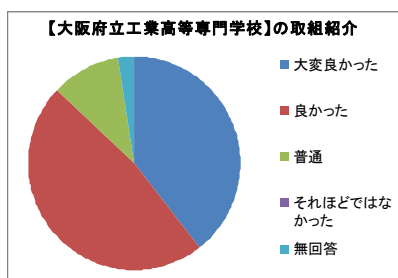
写真2 総工GP概要説明



写真3 学生表彰式の様子



写真4 パネルディスカッション



総工GPも残り1年3ヶ月になりました着実に歩んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

